



岡谷市チームと小学生の部
で対戦する妙義Bチーム
(上)、一般の部で対戦する
小野チーム(右)



2月13日 岡谷市と親睦深める
エースドッジボール交流大会

- 小学生の部
- ①小野A②一ノ宮A③丹生B③東富岡
- 一般の部 ①高瀬②小野③七日市黒川

市民体育館で選手関係者約900人と、姉妹都市の岡谷市の選手団(一般と小学生)を迎えての第18回エースドッジボール交流大会が開催されました。岡谷市とは隔年で訪問し合い、親睦の交流大会を行っています。大会は、小学生の部17チーム、一般の部10チームで行われ、熱戦が繰り広げられました。入賞チームは、次のとおりです。

2月12日 男女共同参画セミナー
日本を支えるのは…

男女共同参画セミナーが、生涯学習センターで開かれました。全3回のセミナーで、第1回のこの日は、ぐんま県民塾代表の倉田恵美子さんが「動く世界・変わらざるをえない日本～誰がこの国を支えるのか～」と題して講義。参加者は世界の中で日本の置かれている状況や日本を支える女性の役割などについて学びました。第2回は19日に「暮らしと金融」、第3回は26日に「太極拳」を学びました。



勾玉作り



市内出土品展が、美術博物館で開かれました。諸戸日影遺跡、下高田原IV遺跡、上高田熊野上遺跡から発掘された土器などのほか、今回初めて、3世紀後半から11世紀中頃までの約800年間の土器の移り変わりを展示しました。古墳時代から奈良・平安時代の土器の変化を同一地域内の出土品で展示できる機会はありません。13日と20日には、遺跡説明会も開かれました。会場に設けられた挑戦コーナーでは、勾玉やつる籠作りを来場者が楽しみました。

2月10日～20日

同一地域内出土の土器で
800年の移り変わりを展示



2月7日

コープぐんまと
災害時の協定締結

生活協同組合コープぐんまと本市の間で、災害時の応急生活物資供給などに関する協定が結ばれました。県内でコープぐんまとの協定を結ぶのは9市目です。市役所公室で行われた締結式では、岡野市長が「この協定はたいへん心強い」と挨拶。コープぐんまの中嶋源治理事長も「災害はあっては困るが、いざというときに備えて準備をしようふんとしておく必要がある」と述べました。その後、中嶋理事長と岡野市長が、協定書に署名、押印を行いました。この協定は、災害発生時に被災した市民に対して行う応急生活物資の供給、輸送、ボランティア活動などに関する協力事項を定めたものです。



2月12日 子育てボランティアが講演会
「ゆっくり芽をだしても大丈夫」

子育てボランティアグループ「スマイルの会」が、共同募金配分事業の一環で、一般の人を対象とした講演会を開きました。講師はNPO法人リンケージ理事長で臨床心理士の石川京子さん。石川さんは「ゆっくり芽をだしても大丈夫」と題し、主に乳幼児期の子育てについて講演。参加者は、発達にかたよりのある子どもたちへのかかり方などについて学びました。

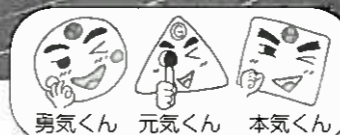


1月23日

富岡小わくわく体操が
全国ビデオコンクールでグランプリ



運動会で



勇気くん 元気くん 本気くん

(社)日本エアロビック連盟主催の「☆さらさら☆エアロ☆マナーエアロビック第3回全国ビデオコンクール」で、富岡小が特別部門のグランプリを受賞しました。同小では、エアロビックスの動きを取り入れたオリジナル体操「わくわく体操」を運動会などで行っており、その様子を応募しての受賞です。体操は、健康教育のイメージキャラクター「富小三健志」「元気くん」「本気くん」「勇気くん」といっしょに体を動かす内容。歌詞は子どもたちが考えたそうです。今回は富岡甘楽を拠点とする「踊らん会エアロビッククラブ」も自由部門でグランプリに輝きました。

1月29日～3月6日
描かれた養蚕・製糸
錦絵や挿絵などを展示

美術博物館で、収蔵品を中心に身近な暮らしの中の歴史をテーマとして、平成19年度から毎年行っている「くらしのうつりかわり展」。今年度は「描かれた養蚕・製糸」と題して、養蚕や製糸を題材とした錦絵や養蚕技術書の挿絵などを取り上げた展示が、3月6日まで行われています。来場者は「こうして一堂に見る機会はない」と熱心に見入っていました。

